

本センターは、2013年度より越境地域政策研究の基礎的研究、社会的実用研究を促進するとともに、研究成果の全国への波及を目指し越境地域政策研究フォーラムを毎年開催してまいりました。

こうした中、2023年7月に国土形成計画法に基づき閣議決定された「第三次国土形成計画」では地域生活圏がキーワードとして取り上げられており、生活圏の持続性を念頭においた連携が不可欠となっています。今回の越境地域政策研究フォーラムでは、基調講演として地域生活圏をふまえた自治体による地域維持政策についてお話いただくほか、分科会では三遠南信地域における地域生活圏を軸としたまちづくりへの展望、また学生と地域によるまちづくり連携に関する議論が行われます。

あらゆる境界を越えようとする、越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2025年 2月22日(土) 13:00~ **現地開催のみ**

会場:愛知大学豊橋校舎 6号館3階 630教室

13:00~14:15

第1部

あいさつ 広瀬 裕樹 (愛知大学学長)

趣旨説明 戸田 敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)

## ■ 基調講演「人口減少社会の地域維持における県の役割」

江口 幸雄氏 (愛知県副知事)

14:30~17:40

第2部

計画行政コア：パネルディスカッション  
「現場からつくる地域生活圏」 (14:30~)

◇コーディネーター： 岩崎正弥(愛知大学地域政策学部)

【パネラー】

- ・南信地域： 新海健太郎氏(株式会社週休いつか)
- ・県境域： 能見奈津子氏(株式会社種籾)
- ・遠州地域： 大木島詳弘氏(浜松学芸中学校・高等学校)
- ・東三河地域： 高橋大輔氏(公益社団法人東三河地域研究センター)

地域システムコア：学生によるまちづくり活動の実践と課題 (16:10~)

◇コーディネーター： 河上 哲氏(近畿大学)

【報告】

- ・豊橋市二川地区のまち歩きマップ制作に向けた学生の取り組み： 佐藤弘隆(愛知大学地域政策学部)
- ・豊橋市まちなかでのまちづくり活動—市民によるアートイベントとの共同—： 駒木伸比古(愛知大学地域政策学部)
- ・山口県周南地域におけるPBLの実践と課題： 羽田 司氏(長野大学)
- ・経営系学部におけるまちづくり活動の実践と課題： 大石貴之氏(岡山商科大学)

## 参加申込み

右のQRコードを読み取り、フォーラムの応募フォームから参加登録を行ってください。  
<https://forms.gle/d1wWwC1Nzk72rHbN9>

下記URLの三遠南信センターHP内、フォーラム案内ページ内のリンクからも参加登録できます。

<https://edu.aichi-u.ac.jp/san-en/info/1329>



## ◆お問い合わせ先

愛知大学  
三遠南信地域連携研究センター

〒441-8522  
愛知県豊橋市町畑町1-1  
TEL:0532-47-4157  
FAX:0532-47-4576  
E-mail:  
sen-center@mml.aichi-u.ac.jp

\*なお、講演・報告タイトルは変更となる場合があります。

# 愛知大学三遠南信地域連携研究センター (2024年度) 第12回 越境地域政策研究フォーラム